

2023 年 10 月 6 日

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 小児科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・リンパ節炎症候群（PFAPA 症候群）の術後長期予後に関する観察研究」 へのご協力のお願い

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013年1月1日～2022年12月31日の間に、当院において、PFAPA 症候群の診断を受けられた15歳以下の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2024年 12月 31日

研究目的・利用方法：

PFAPA 症候群は周期的に発熱発作を繰り返す疾患であり、主に小児に好発します。口蓋扁桃摘出術が発作抑制に有効であることが知られていますが、手術適応基準や術後の長期予後について共通の見解はありません。過去に当院で加療した PFAPA 症候群症例の臨床経過を診療録等にて調査し、長期的な予後や手術適応基準について検討します。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

年齢、性別、身体所見（扁桃肥大の有無）

治療内容（手術の有無）、罹病期間

手術を受けられた患者さんについては、以下の項目について、お電話でお伺いします。

術後1年間の発熱発作頻度の変化

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：

研究実施許可日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来に

わたくし当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

氏名：奥田 弘

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

電話番号：058-230-6279

氏名：奥田 弘

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp